

事業名：昭和100年記念事業研修会

<事業の趣旨及び内容>

地域や団体における事業や活動の変化に焦点をあて、現在及び将来世代がポジティブに活動し活躍できる持続可能な組織のあり方について考える。支え合い、幸せを実感しながら成長するコミュニティの実現をめざし、SDGsを達成しようとする意識を醸成する。

1. 開会行事（25分間）

- 内容：①「小さな親切」運動賞（全国表彰）披露
観光ボランティアガイドつるが
- ②「小さな親切」作文コンクール表彰（全国入選）
西ノ上楓花さん 松陵中学校2年
- ③実行章贈呈（1団体） 敦賀高校剣道部
- ④『親切さん』のいるまち・神社・学校」贈呈（5団体）
本町2丁目 杓見 呉竹町 金崎宮 敦賀高校



2. パネルディスカッション（90分間）

- テーマ：「楽しさ共有 悩みも共有 個性尊重社会での継続する組織のあり方」
- 登壇者：星出絵美氏 田辺寛之氏 中村幸恵氏 寺田徹也氏 桃井泰人氏 山本拓氏 高畑徹氏
- 内容：事前に参加団体、区長、県内各支部に「団体活動・地域活動アンケート」を実施し、コミュニティの課題や取組などの実態をふまえて研修会を構成した。研修会では、登壇者のみならず、参加者に団体が抱える実情を発言していただき、持続可能なコミュニティのあり方について当事者の気持ちになって考える研修会となった。



3. 参加者の意見（研修会後のアンケートから）

- ・敦賀市に愛をもった方々、ボランティア団体、高校生たちなどがつながり合ったら、高齢者問題や少子化問題もクリアできていける大きな力になると思った。
- ・『小さな親切』という枠を超えてまちづくり全体を考えるうえで大変よい機会となりました。
- ・高校生の発表は、期待以上の熱意があり、未来の運動を担う力強さを感じました。継続的な支援が重要だと再認識しました。
- ・内容はすばらしかったが、各パネリストの方々にもっといろんな意見を聞きたかった。

4. 事業の成果

7名の登壇者はじめ、市内の多種多様な団体が参加し、多くの団体が抱える課題や現状と改善を図る取組について対話し、意見交換する貴重な機会となった。次世代との連携や広域での地域活性化といった具体的な提案があり、つながりや人づくりを軸とした中長期的な運動を展開していく必要があることも共有することができた。一方、パネルディスカッションにおいてさらなる議論の深化を要望する参加者の声も聞かれた。今後、研修会を実施する際は、双方向性を重視した研修となるよう改善を図っていく。